

血液内科に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在血液内科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。

ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用や他の研究機関への提供を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ（NETs）の評価

●研究の目的

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の患者さんを対象に、通常の診療で得られた試料・情報を収集・解析することにより、胸部症状、心筋虚血マーカーを解析しその関連を検証することを目的としています。

●対象となる患者さん

2005年4月1日から2023年9月30日の間、当科を受診され、診断のため奈良県立医科大学輸血部に血液検体を提出し、血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）と診断された患者さん。

●研究予定期間：2024年1月22日から2028年3月31日

※ただし、病院長の許可日以降に開始します

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原康樹

●使用させていただく試料・情報

- ・奈良県立医科大学輸血部に提出された血液検体
- ・当院のカルテに基づいた初診時の診療情報

性別、発症日、発症時の年齢、既往歴。

抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値。

心筋ストレスマーカー、転帰

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、電子メールやインターネットを通じて、又は郵送やFAX等により共同で研究を実施している他の施設へ提供することもあります。患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究代表機関（情報管理責任者）

奈良県立医科大学 輸血部

代表者名 松本 雅則

●研究事務局（本研究全般の窓口）

奈良県立医科大学 輸血部

代表者名 酒井 和哉

住所：〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051（内線：3288）対応時間 8 時 30 分～17 時

●研究協力機関

奈良県立医科大学附属病院

和歌山県立医科大学附属病院

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

国立大学法人群馬大学医学部附属病院

奈良県総合医療センター

東京都済生会中央病院

高槻赤十字病院 など計 141 施設

●問い合わせ先（当院の連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 血液内科

研究責任者 平本 展大

住所：神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1

電話：078-302-4321

2023 年 12 月 15 日作成 第 1.0 版